

キャンパス歳時記(1)

入学の春



桜をバックに記念撮影—世田谷キャンパス経堂門前で



情報大部活動で新入生インタビュー



オホーツクキャンパスで新入生歓迎

桜に希望を託して

学校の入学時期を秋にすべきだという意見は根強い。一方で、やはり春がいいという説を心情的に補強するのが、桜だろう。明日への希望に胸ふくらませる新入生に、咲き初める桜がよく似合う。

東京農大の世田谷、厚木両キャンパスではそうだが、春浅い北海道・網走のオホーツクキャンパスでは違う。残雪を踏みしめて、入



桜満開の世田谷キャンパス

学の式場へ。そんな情景もまた、入学の喜びとともに、思い出に深く刻まれることだろう。

東京農大のキャンパス、農場などは列島各地に展開している。系列校の東京情報大も含めて、これから1年、その歳時記をつづりたい。写真はそれぞれの教職員が主に昨年撮影したものである。

北の大地に残雪も



4月でも残雪のオホーツクキャンパス